

第1号議案

2014年度事業報告

地域を基盤とした途上国支援、多文化共生社会、グローバル教育によってグローバル市民社会を目指し、事業の開催や行事への参加、行政や国際協力機関、教育機関との協働、NGOとのネットワークを進めた。また、加盟会員との情報交換、勉強会の実施、会員NGOへの業務支援等により、会員団体の運営や事業の進展に寄与した。

1. 2014年度定期総会の開催

日時：2014年6月5日（木）17時30分～18時30分

場所：埼玉YMCA浦和センター

出席者：赤石和則、荒田光男、尾池富美子、尾嶋佐和子、栞原道子（議長）、佐複正雄、白石英二、加藤陽一。（敬称略）

下記の議案を審議し承認した。

第1号議案「2013年度事業報告」

定期総会、定例会、グローバルセミナー2014の開催、国際フェアへの出展参加、業務支援や情報提供等の会員サービスなどの報告が行われ、全員異議なく承認された。

第2号議案「2013年度収支決算」

2013年度の収入及び支出の決算報告及び会計監査結果の報告があり、全員異議なく承認された。

第3号議案「2014年度事業計画」

定期総会、定例会・勉強会の開催、グローバルセミナー2015の主催、国際フェアへの出展参加、城西大学経済学部国際ボランティア論講座へ講師派遣、会員へ情報提供や業務支援等のサービス提供などの事業計画が説明され、全員異議なく承認された。

第4号議案「2014年度役員」

2014年度の役員として、代表：栞原道子（埼玉YMCA代表理事）、副代表：尾嶋佐和子（国際教育コーディネーター）、白石英二（埼玉県ユニセフ協会事務局長）、世話人：赤石和則（拓殖大学国際学部教授）、荒田光男（ふじみの国際交流センター理事）、尾池富美子（メイあさかセンター代表理事）、皮籠石成久（埼玉県国際理解教育研究会）、佐複正雄（IV-JAPAN理事）、山尾三枝子（埼玉日本語ネットワーク副代表）、山本孟人（民族フォーラム理事長）、監査：磯田昇（大学講師・グローバル人材アドバイザー）、事務局長：加藤陽一（元日本ユニセフ協会協力事業部長）の選任を全員異議なく承認された。

第5号議案「2014年度収支予算」

2014年度の収入及び支出の予算が説明され、全員異議なく承認された。

2. 定例会の開催

定例会を埼玉県国際交流協会（以下 SIA）、国際協力機構（以下 JICA）埼玉デスクとの協議も含め開催した。議事録は会員向けメーリングリストで発信し、情報の共有に努めた。

(1) 4月定例会

4月24日（木）18時～20時、浦和コムナーレ、出席者9名

総会に提出する2013年度事業報告案・収支決算案、2014年度事業計画案・収支予算案を協議し、参加者からの意見により一部修正して原案が承認された。役員案に関して欠席の本人意向を確認した上で、継続する事とした。

(2) 7月定例会

7月15日（火）9時30～11時30時、浦和コムナーレ、出席者11名

広報リーフレット2014年版案を協議し決定した。グローバルセミナー2015の主催三者で意見交換を行い方向性を協議した。

(3) 9月定例会

9月11日（木）9時30～11時30時、浦和コムナーレ、出席者10名

グローバルセミナー2015の企画について、主催三者で企画内容を具体的に協議し、テーマ、会場、日時、全体構成、講師等に関して方針・候補を決定した。国際フェア2014に関して協議して内容を決定した。

(4) 10月定例会

10月9日（木）9時30～11時30時、浦和コムナーレ、出席者9名

グローバルセミナー2015の企画について、交渉の進展状況の説明を受けて協議し、若干の修正・追加項目を決定した。国際フェア2014に関して具体的な企画内容やスタッフを協議し決定した。

(5) 11月定例会

11月18日（火）9時30～11時30時、浦和コムナーレ、出席者12名

新規団体会員として、世界に目を向けよう～今、私たちにできること～（代表：金子玲子）の加入を全員異議なく承認した。グローバルセミナー2015の交渉等進展状況を受けて、講師の一部変更、参加者募集方法等を決定した。勉強会講師として、横浜 NGO 連絡会エグゼクティブ・プロデューサー小俣典之氏（外務省 NGO 相談員）を決定した。国際フェア2014の結果報告がなされ評価が行われ次年度へ繋げる事が確認された。

(6) 12月定例会

12月18日（木）9時30～11時30時、浦和コムナーレ、出席者10名

グローバルセミナー2015の案内チラシの完成、主催三団体及び加盟団体等で参加者募集方法を進める事を決定した。新規個人会員として、甲斐信好氏（拓殖大学教授）の加入を承認した。

(7) 1月定例会

1月15日（木）9時30～12時、浦和コムナーレ、出席者12名&ゲスト

グローバルセミナー2015に関して、ファシリテーターを務める石川一喜氏を加えて、内容、当日の準備・運営と役割分担を決定した。埼玉県平和資料館より国際協力コーナー展示パネル企画に協力要請があり、応じる事を決定した。

(8) 3月定例会

3月19日(木) 9時30分～11時30分、浦和コムナーレ、出席者12名
グローバルセミナー2015の評価を行った。参加者アンケート結果などを参考に、参加者増加・高出席率の要因の分析、テーマ設定の適切性、内容等に関して検討を行い、次回の改善策を協議した。定例会終了後に皮籠石成久世話人(埼玉県国際理解教育研究会)海外赴任のため送別会を行った。

3. グローバルセミナー2015の開催

テーマ：『地域で育むグローバル市民～子どもの「幸福度」について考えてみよう～』

主催：埼玉国際協力協議会、国際協力機構 JICA 東京、埼玉県国際交流協会

後援：埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会

日時：2015年2月8日(日) 10:00～16:40

会場：北浦和ターミナルビル3階カルタスホール

参加者：105名

基調講演&クロストーク

「先進国における子どもの幸福度～日本との比較」(ユニセフ共同調査報告)

竹沢 純子(国立社会保障・人口問題研究所室長)

「日本の子どもの問題について～子どもの貧困など」

大山 典宏(社会福祉士、著書「生活保護 VS 子どもの貧困」、生活保護 110 番)

第1分科会「子どもの幸福度について～基調講演を受けて考えてみよう」

ファシリテーター：石川 一喜(拓殖大学国際開発教育センター準教授)

第2分科会「学校現場での国際理解教育実践例」

発表：JICA 教師海外研修参加教員

課題別グループ討議

①外国人コミュニティ：子どものいじめ(島袋ハビエル・SIA 外国人相談員)

②NPO 活動：子どもの学習支援・居場所の提供(梶加寿子・NPO 法人街のひろば)

③地域/家庭/行政：子どもを守るつながり(大山典宏・社会福祉士)

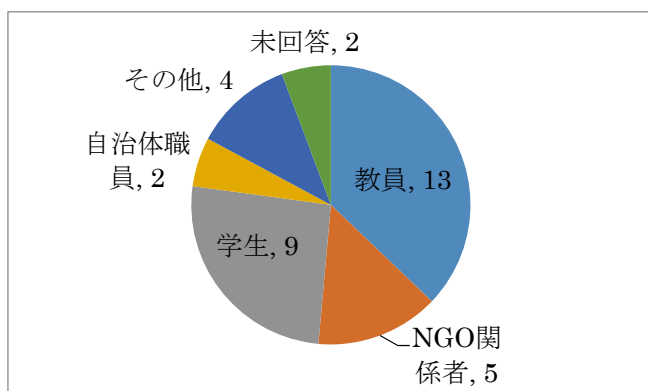
④学校現場：子どもの貧困・外国人生徒への対応(古山三保・川口市立中学校教師)

全体振り返り・今後への提言

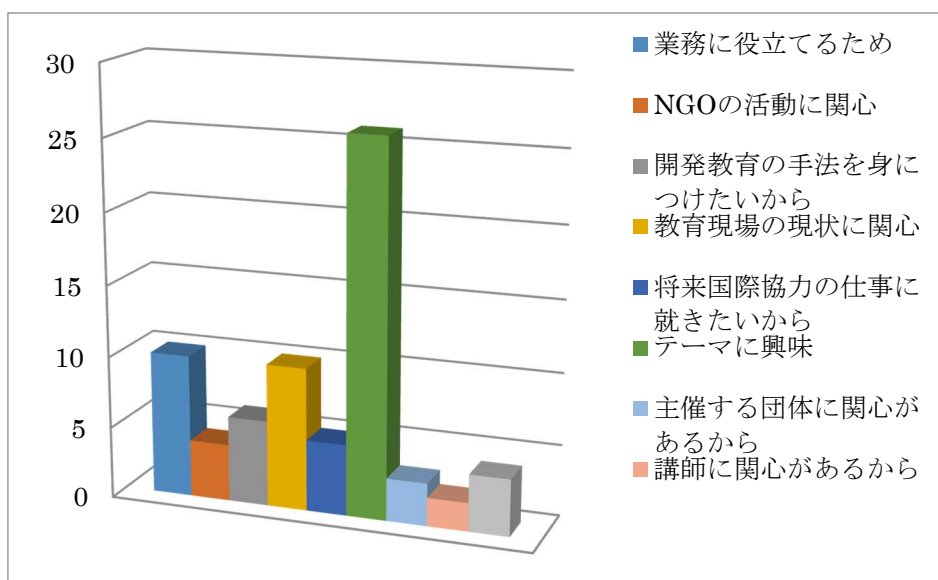
ファシリテーター：石川 一喜(拓殖大学国際開発教育センター準教授)

参加者アンケート結果

参加者所属



参加目的



3. 本セミナーの満足度はいかがでしたか？

基調講演・クロストークについて

大変満足 (16) 満足 (15) あまり満足できなかった (1) 不満 (0) 未回答 (2)

他の国について、いろいろな知識を学びました

他国についても知ることが出来た

分野別で項目を調べ、順位についての解説があり理解しやすい講演となっていた

話が長かったので少し実体験もあるとよかったが、たくさん学べた

世界についての自らの知識を得ることが出来た

自分の考えを改めさせられた

大変ためになる話を聞いた

やや難しい面もあったが、2つの分野から話を聞いて良かった

世界規模と現場視点の2視点のバランスが良く、ストンと落ちました
子どもの貧困についてのお話が興味深かった
新しい知識を取り入れることができた
生まれた時より良い社会を！おせっかいのススメとてもよかった
データと現場の両方の話があったのがよかった
データに基づいており理解しやすかった
幸福度について考える機会になった
幸福は考えると難しいが、貴重な話が伺えたと思う
分かりやすかった
将来の夢について考えることが出来た
いい意味でのおせっかいな人になろうと思った。視野が広がった。
前半は抽象的な話が多く曖昧だったが、後半は具体的な話でもっと聞きたかった
知らなかったことを知った

分科会について

第1分科会

： 大変満足 (5) 満足 (7) あまり満足できなかった (0) 不満 (0) 未回答 (0)

1人1人の考えをまとめて、沢山の人の意見を聞くことができた

自分の幸せから基調講演の課題を考えることができた

写真から内容を深めていくのがよかった

幸福とは、その人によって違うことが分かりました

初級向きで少し長かったが、分かりやすかった

第2分科会

大変満足 (14) 満足 (7) あまり満足できなかった (0) 不満 (0) 未回答 (0)

プレゼンも質疑も大変よかった

エルサルバドルでの先生方の学びを見ることが出来よかった

興味深い内容だった

今の授業の改善方法のヒントがあった

実際に目の前で資料を見せてもらえてよかった

グループ内で色々と話が出来てよかった

国際協力を実際に考えることが出来、私も世界のために出来ることをしたい

エルサルバドルについて詳しく知ることが出来、協力隊に行きたくなった

遊びつつ学びもある大変いい時間だった

様々な年齢層や立場の方の話を聞けて勉強になった

単なる研修報告ではない工夫が見られ、とてもよかった

授業実践が参考になった

海外研修を学校現場に持ち帰り、実践していることに感動しました

教師はやって自己満足になりがちですが、報告を聞き見聞を広める必要を感じました
エルサルバドル、国際理解教育について、新鮮な報告を聞くことができました

課題別討議について

大変満足 (20) 満足 (12) あまり満足できなかった (0) 不満 (0) 未回答 (0)

いろいろな人の意見を聞いた

違う立場の人の意見が聞いた

外国籍の児童の親の支援をしっかりと出来るようにしていく

いじめについて深く知れた

自分の意見を言う機会が得られてよかった

様々な国の文化を知ることが出来、自らも調査員になった気がしました

自分の体験も話せてよかった

時間が少なく感じるほど、有意義でした

内容自体がよかったが、時間がもう少し欲しかった

ハーフという身として、色々と興味がわき、話も分かりやすかった

同じ立場の人が多く、議論が深まった

学校の課題と現状から、子どもたちの様子を聞くことが出来た

現状がよくわかった

外国人生徒の多い学校の取り組みを聞くことが出来、話し合い、勉強になった

中学生の生の声も聞いて良かった

振り返りについて

大変満足 (19) 満足 (13) あまり満足できなかった (0) 不満 (0) 未回答 (0)

今日の内容がうまくまとまって、分かりやすかった

子どもにとって〇〇な社会、というテーマ設定がよかった

ポジティブに考えることが出来てよかった

いろんな考えを聞いて良かった

互いに意見を交換し合い、新しい意見が発見でき、広い視野につながった

みんなで話すことで色々と学べた

初めて会った方々と、楽しく意見交換が出来た

沢山のひと意見交換が出来、自分の知らない世界も知ることができた

1つ1つがまとめられていて、見ている方も考えやすかった

他のグループの事も聞いてありがたかった

石川先生の手法が教師として参考になった

時間は短かったが、深い交流が出来た

まとめることで、これからの課題が見えた

最後のまとめで、4つの繋がりが見え驚いた

やや時間が長かった

4. 特に参考になった内容、もっと聞きたかった内容は何ですか？

私たちが幸せに感じることとその理由

先進国の幸福度について

幸福についてもやもやしますが、今後も深めていきたい

いじめについて

日本は殺人発生率が世界2位で、大気汚染と関係していること

日本の問題について

外国人生徒へのいじめについて

エルサルバドルのボランティアについて

全部

外国人の子どもたちを、いかに孤立せずに日本のコミュニティになじませるか

外国人が増えている中で、学校現場での対応を考えたい

第2分科会の授業実践は、自分の仕事でも活かそう

学校の現状

学校の間づくりのヒントを得ることが出来参考になった

大山氏の話

日本にいる外国の子どもについて、もっと聞きたい

5. その他、ご意見やご要望、今後聞いてみたいテーマなど自由にご記入ください

とても分かりやすかったので、来年もやってほしい

大人から見た子どもというテーマ

子どもたちの教育について

良い刺激をありがとうございます

いじめについて

グラフを用いて分かりやすかったので、写真等もあるともっと分かりやすかった

外国に行く日本人について

中学生も参加していて、子どもも参加できる参加型で素晴らしい催しでした

こんなに多くの議論を1日で出来て、充実していました

私も生徒を連れてこればよかったと思えるイベントでした

様々な方が参加されていて、刺激になりました

子どもの学習支援について

地域を支える様々な方に出会えて、よかった

私用のため、最後まで参加できずに残念でした

もう少し1つのテーマで話すのもいいが、様々な話を聞けるのもよかった

川口市立幸並中学校英語&世界をマナ部参加生徒感想

・最初は緊張したが、いろいろ学べて楽しかった。難しい問題もあったが、周りの大人の

人達が一つ一つ丁寧に教えてくださったのでわかりやすかった。私の行ったチームは、「外国人のいじめ」だったので、私としてもすごく関係があり、いじめられている子を助けたいという思いがあったので、たくさん発言できてよかった。このようなことについて考えてくれたり、行動する大人の人たちがすごくかっこよく見え、そういう大人に私もなりたいたいと思った。来年も参加したい。

- 今日、子ども達の幸福度について学べた。日本の子ども達の幸福度は総合6位だとわかり、意外と幸せだったとわかった。午後はグループで、子どものいじめについて話し合った。自分が日本に来たばかりの時を思い出した。
- 午前中は大人用のセミナーで難しかったけど、午後の第2分科会はとてもおもしろかった。グループごとに分かれ、それぞれの意見を述べるのがとても楽しかった。特によかったのは4つのグループに分かれて話し合ったこと。私もハーフなので、小学校4年生の時に発音のことできつく注意された時のことを言ったら、皆相づちを打ってくれてとてもすっきりした。他の人の中にも外国の血が入っているというだけで差別されたりからかわれたりしたという人がいて、聞いているだけで心が痛かった。将来、外国人やハーフで差別されたりしないで、皆楽しくなるようになってほしい。
- 最初は子ども達の幸福度について考えた。日本語が難しかった。50%くらいわかった。午後は第2分科会で、誕生日でグループ分けしたりした。また、外国人コミュニティ、子どものいじめについてに参加した。今日は楽しかった。
- 第1分科会で、知らない人と一緒になった。でもどの方も優しく、よかった。いろいろな意見を出して話し合いができたので良かった。私も幸福にいろいろな人がなれるように、がんばっていきたい。これからももっと世界に目を向けたい。
- 正直、全体的に難しかったけど、積極的に参加して、質問したり、答えたりがんばった。これからもっと積極的に参加したい。
- 子どもの幸福度について、意外だったこと、初めて知ったことがたくさんあって勉強になった。少し難しい話もあったけど、納得できる内容もありおもしろかった。午後はいろいろな人の考えを聞くことができ、勉強になったし、新しい発見もあった。でも、自分の意見や考えを緊張してあまり言えなかったので、積極的に発言できるようになりたい。
- 難しく理解できないところもあったけど、勉強になった。生活保護についての考え方に2つのタイプがあり、2つ共に問題があることや、様々な国の文化等たくさん学んだ。グループ討議では自分の体験も話せて、相手の体験も聞いたので、とてもためになった。コミュニケーションがたくさんとれた。
- 中でも興味深かったのは、幸福度についての話だった。案外日本が低いのが意外だった。物質とか結構恵まれていると思ってたけど…。第1分科会では石川先生によるアイスブレーキングと幸せについてのディスカッションだった。石川先生の話し方はとてもおもしろい感じだった。ふり返りは大山先生のグループだった。大人の方の子どもへの考え

方や 国際結婚のことについて詳しく知ることができた。今日1日でたくさんを知り、 学びを深めることができた。

- Yesterday, I went to Kitaurawa with my friends of the English club. At first, two teachers spoke something, but unfortunately I couldn't understand what they said. And then, I went to the second group with my friend. They talked about Japanese class, how to teach Japanese to foreigners. I think that's a big problem for foreigners and teachers who want to teach Japanese. For the activity, I just learned a little content of it. Although that's a shame, with teachers and students together was very happy!
- 大山先生の少年の話が一番深く印象に残った。また、物質的な豊かさが日本は21位ということにも驚いた。しかし、竹沢先生のお話で、日本にもいろいろな改善点があることを学んだ。これからも広い視野で、母国だけにとらわれず、世界に目を向けていきたい。
- 私は午前しかいられなかったけど、内容が難しかった。びっくりしたのは日本の幸福度が意外とランクが低かったこと。私は今の生活が結構幸せだと思っている。家族がいるし、友達も先生も尊敬する人もいて、お金もちゃんとあるし（別のお金持ちとかではないけど）。幸せな環境があるのに幸せじゃない人がいるなんてびっくりした。それと、日本の教育が1位だったのもびっくりした。いろいろなことを考えさせられた。
- Today I leaned something in this activity. I think it was fun and meaningful. But I couldn't understand Japanese, so it was difficult for me. I must study Japanese very hard. Now I can't talk with my teachers and classmates well. I believe I can study very hard and I can speak very well.

4. 国際フェア2014への出展参加

国際フェア2014～埼玉県のNGOの祭典～世界を体験！楽しむ、味わう、2日間

－NGOの活動紹介（70団体）、世界の料理コーナー、民族舞踏や音楽披露－

主催：公益財団法人埼玉県国際交流協会

共催・JICA地球ひろば、後援：埼玉県、埼玉県教育委員会など

日時：2014年11月1日（土）、2日（日）10：00～16：00

会場：さいたま新都心けやき広場

公益財団法人埼玉県国際交流協会の主催の「国際フェア2014」が11月1日（土）、2日（日）に開かれた。「世界を体験！楽しむ、味わう、2日間」として、埼玉県内のNGOなど70団体が参加し、それぞれの活動紹介、フェアトレード商品や各国の料理の販売などを行った。ステージでは、民族舞踊や民族楽器演奏などが行われ、東日本大震災復興支援として、特産品やB級グルメの出展コーナーが設けられた。1日はあいにく朝から一日

中雨が降る天気だったが、2日は天気も回復して暖かくなり、大勢の人出が有り、開店前から閉店時間まで人が途切れる事もなく、賑やかで前日の分を取り戻す一日となった。

埼玉 NGO ネット出展ブースは、ネット加盟団体提供の景品、川口市立幸並中学校英語&世界をマナ部の中学生ボランティアによる国際理解クイズなどにより、大勢の人がブースに立ち寄って活況を呈した。幸並中学校英語&世界をマナ部の生徒は、水と衛生をテーマに事前勉強で学び、その成果をクイズのまとめ、人の呼び込みから対応までを行い、大勢の来場者を引き付け、感心させていた。

埼玉 NGO ネット加盟団体では、埼玉県ユニセフ協会、国際協力 NGO・IV-JAPAN、埼玉 YMCA、民族フォーラムが出展した。

5. 勉強会の開催

(1) アフリカ・マラウイの教育を通して考えたこと

日時：2014年7月15日（火）10：30～11：30

場所：浦和コンナール

講師：中野貴之 JICA 埼玉デスク・国際協力推進員

中野貴之氏は青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに2010年1月から2012年1月まで2年間派遣され、バラカ・セカンダリースクール（中等・高等学校）で、理数科教師として活動してきた。主な活動内容は、バラカ・セカンダリースクールで数学授業の実施、近隣の学校へ巡回してマラウイ人教員と授業内容の意見交換、マラウイ教員研修への参加など。講演内容は次の通り。

- ・マラウイについて
- ・マラウイの教育の現状について
- ・協力隊としての活動
- ・マラウイから受け取ったもの
- ・マラウイで考えた日本のこと、国際協力のこと

(2) ウイグルを知る、考える

講師：阿依 サリタナ（中国新疆ウイグル自治区出身・比較言語共同研究者）

日時：2014年9月11日（木）10：30～11：30

会場：浦和コンナール

内容：ウイグルについての概要（地理・歴史・文化・教育など）

ウイグルの現状

ウイグル人の訴えたいこと

(3月) 横浜の NGO ネットワークについて

講師：小俣典之（横浜 NGO 連絡会 エグゼクティブ・プロデューサー）

横浜 NGO 連絡会前理事長（設立から 2014 年総会迄）・設立代表者、よこはま国際協力・

国際交流プラットフォーム運営委員長、外務省 NGO 相談員。横浜市職員（福祉職）として知的障害者施設、福祉事務所で勤務。神奈川県民際協力基金審査員、NGO かながわ国際協力会議委員、障害分野 NGO 連絡会（JANNET）財務・組織委員長。

日時：2015年3月19日（木）10：30～11：30

会場：浦和コムナーレ

内容：・横浜 NGO 連絡会の歩み

- ・地域型ネットワーク NGO のマネジメント・運営体制
- ・会員団体の特徴
- ・会員団体の課題
- ・地域の国際協力イベント運営・活動と業務
- ・外務省 NGO 相談員
- ・人材育成事業
- ・NGO・行政・企業との連携
- ・よこはま C プラット

6. 城西大学「国際ボランティア論」講義への講師派遣

城西大学経済学部国際ボランティア論受講生への授業。埼玉 NGO ネット側コーディネーターは尾池富美子メイあさかセンター代表理事が努めた。

講義 1.

会場：城西大学経済学部講義室

日時：2014年10月22日（水）

講師：認定 NPO 法人メイあさかセンター代表理事尾池富美子

講義 2.

会場：城西大学経済学部講義室

日時：2014年10月29日（水）

講師：認定 NPO 法人ふじみの国際交流センター理事長石井ナナエ

講義 3.

会場：城西大学経済学部講義室

日時：2014年11月12日（水）

講師：NPO 法人民族フォーラム理事長山本孟人

テスト：12月25日テスト問題提出（共通設問・尾池担当及び各講師による設問）、1月28日テスト実施、2月上旬3人で採点。

今年の受講生は30人弱で、これまでで一番少人数だったが、授業も熱心に聴いて、山本代表の授業では学生にも質問形式で進めたこともあって、時間を共有しよい時間が流れた。テストの時間配分が難しいのか、書ききってない学生も見かけるので、次年度の設問に工

夫が必要ではないかと感じた。ネットワークのPRもしていますので、参加しているNGOに体験で来ることも期待している。

7. 加盟団体への業務支援

(1) 国際協力 NGO・IV-JAPAN 木工事業支援

IV-JAPAN は2014年3月より JICA 草の根技術協力事業の一環として、埼玉県国際課と協働して、ラオス「青少年の収入向上のための木工職業訓練3ヵ年事業」を開始した。IV-JAPAN は5月8日（金）、日本事務所で、日本で調達する供与機材の一般競争入札を行い、埼玉 NGO ネット加藤陽一事務局長が立会人を勤めた。

(2) 埼玉県指定の取得支援

埼玉県指定 NPO 法人とは、一定の基準に適合する NPO 法人を埼玉県が条例で個別指定する制度で、IV-JAPAN は埼玉 NGO ネットの業務支援を受けて、2013年11月に埼玉県庁に申請し、埼玉県議会の承認を経て2014年7月15日に公布された。

個人が指定 NPO 法人へ寄付した場合、個人県民税の寄附金税額控除を受けることができる。指定 NPO 法人は、「埼玉県指定特定非営利活動法人」の名称を使用することができる。

埼玉県指定を取得するには、過去5事業年度（初回の申出の場合は2事業年度）にわたって次の条件に適合していることが必要である。

- ・ 県内に主たる事務所を置く NPO 法人であること
- ・ 県内で特定非営利活動の実績を有していること
- ・ 公益基準として、ア又はイのいずれかに適合すること
 - ア. 経常収入額に占める寄附金等収入の割合が10%以上で、かつ、自治体や国等の補助事業や委託事業を年2件以上実施している
 - イ. 3千円以上の寄附者が年50人以上で、かつ、寄附者数とボランティア実人数との合計が年100人以上
- ・ 運営組織基準として、次のすべてに適合すること
 - 運営組織及び経理が適切であること、事業活動の内容が適正であること、情報公開を適切に行っていること、事業報告書等を毎年所轄庁に提出していること、法令違反、不正の行為、公益に反する事実等がないこと、設立の日から1年を超える期間が経過していること。

(3) アカウンタビリティ・セルフ・チェック (ASC) の取得支援

国際協力 NGO の全国ネットワーク組織である国際協力 NGO センター（以下 JANIC）は、アカウンタビリティ（説明責任）を「組織・個人が、業績や応答性、倫理性について、関係者の期待に応えること」と定義し、NGO がアカウンタビリティの状態を自己診断し、組織体制の確認や改善への取組むアカウンタビリティ・セルフチェック (ASC) 制度を創設した。ASC は、日本の NGO が市民から信頼される組織として発展するために、組織強化

のための自己診断ツールとして活用されることを目的としている。ASCは、4分野「組織運営基準」15項目、「事業実施基準」11項目、「会計基準」11項目、「情報公開基準」4項目の基準を採用している。ジャパン・プラットフォーム（JPF）がASC取得を加盟条件にした様に、今後、NGOの社会的信頼度の基準のひとつとなるだろう。

IV-JAPANはASCを実施するため、埼玉NGOネットの業務支援を受けて約1年前から準備を行い、11月にJANICに申請し、3月にJANIC立会人のもとに実施した。

実施日時と場所：2015年3月13日（金）13:00～16:00、IV-JAPAN日本事務所

出席者：富永幸子代表理事、内部 有子日本事務局総括、井藤尚子日本事務局員

加藤陽一日本事務局アドバイザー

立会人：JANIC職員2名。

ASCの結果は、41項目中37項目が実現し、4項目は今後の改善点とした。この結果を受けて、3月20日のJANIC常任理事会で審議されて承認され、IV-JAPANはASCマークを取得した。実施日時点で全国のNGOでASCを取得したのは22NGOで、IV-JAPANは全国で23番目、埼玉県ではIV-JAPANが最初の取得となった。

8. 会員へ情報提供

埼玉NGOネットメーリングリストを通じて下記の情報を会員へ発信した。

- (1) 埼玉県ボランティア市民活動センター・ホームページ掲載情報の募集案内
2014年4月7日
- (2) 外務省平成26年度ODA予算及び日本NGO連携無償資金協力申請手引きの案内、
2014年4月11日
- (3) JICA国際協力人材センター主催「国際協力団体セミナー in 東京」の案内、
2014年4月14日
- (4) IV-JAPAN 富永幸子代表理事「IV-JAPANのジャパン・プラットフォーム（JPF）加盟」の紹介、2014年4月22日
- (5) シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会主催「認定NPO制度があぶない」の案内
2014年4月24日
- (6) 「グローバル人材育成について」（埼玉県国際理解教育協議会第35号、皮籠石成久執筆）の紹介、2014年4月25日
- (7) 「IV-JAPAN ラオス事業20周年記念式典」富永幸子代表理事報告
2014年4月27日
- (8) 「彩の国NPO・大学ネットワーク活動報告・交流会2014」の案内
2014年4月29日
- (9) 現メーリングリスト廃止に伴う対応方法の案内、2014年5月4日
- (10) IV-JAPAN 主催「アジア理解講座 ラオス料理教室開催」の案内

2014年5月8日

- (11) さいたま国際協力基金平成26年度助成団体募集の案内、2014年5月14日
- (12) 彩の国国際交流・協力ネットワーク・ファンドレイジングセミナー開催の案内、
2014年5月26日
- (13) さいたま市市民活動支援センターWeb 会員登録のお知らせ2014年5月27日
- (14) 埼玉県 NPO 情報ステーション団体登録のお知らせ、2014年5月29日
- (15) ODA 大綱見直しに関する NGO・外務省政策協議会臨時会合の報告
2014年5月30日
- (16) 彩の国国際交流・協力ネットワーク2014年度第1回幹事会の報告
2014年5月30日
- (17) 「彩の国国際交流・協力ネットワーク2014年度全体会ファンドレイジング・セミナー」講師レジメの紹介、2014年6月10日
- (18) JICA 主催「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2014」作品募集の案内
2014年6月16日
- (19) シーズ「NPO 法人制度・税制度に関する要望事項賛同 NPO 法人募集」のお知らせ、
2014年6月20日
- (20) 産学官によるグローバル人材の育成のための戦略の紹介、2014年6月20日
- (21) IV-JAPAN「木工職業訓練所開所式」の紹介、2014年6月26日
- (22) シーズ主催「税制改革による認定 NPO 法人への影響」案内2014年6月26日
- (23) 埼玉県国際交流協会主催「教員のための国際理解教育セミナー」の案内
2014年7月7日
- (24) ODA 大綱見直しに関する有識者懇談会」報告書及び報告書に対する NGO 声明の
紹介、2014年7月9日
- (25) IV-JAPAN・埼玉県指定の承認、県条例での発布の紹介、2014年7月16日
- (26) 「NPO 税制見直し」朝日新聞6月29日付掲載紙の紹介、2014年7月22日
- (27) 多田孝志「グローバル時代の人間形成とは」埼玉県国際理解教育セミナー基調講
演レジメの紹介、2014年7月28日
- (28) JANIC 主催「東日本大震災 市民社会による支援活動 合同レビュー事業検証結
果報告書～国際協力 NGO の視点から～」の案内、2014年8月19日
- (29) 内閣府「平成25年度特定非営利活動法人実態調査」概要の紹介、
2014年8月25日
- (30) 李駒沢大学教授「本気で「市民」を育てよう」（日本 NPO 学会ニューズレター）
の紹介、2014年8月25日
- (31) JANIC「東日本大震災 市民社会による支援活動検証結果報告書（要約）」の紹介
2014年8月31日
- (32) 埼玉県国際交流協会主催「平成26年度第1回外国人相談研修会」の案内

- 2014年9月25日
- (33) 埼玉県社会福祉協会主催「共助の地域づくりシンポジウム」の案内
2014年10月8日
 - (34) NPO 法人大人の学校主催「活動に活かすチラシ作り講座」の案内
2014年10月8日
 - (35) NHK ラジオ深夜便、富永幸子 IV-JAPAN 代表理事出演の紹介、
2014年10月9日
 - (36) 埼玉県国際課「埼玉アジアプロジェクト2014年版資料」の紹介
2014年10月16日
 - (37) 日本ファンドレイジング協会主催「ファンドレイジング・日本2015」の案内
2014年10月17日
 - (38) さいたま NPO センター主催「NPO 会計、資金調達、中長期計画作成に関するセミナー」の案内、2014年10月30日
 - (39) 国際協力大綱（案）へのパブリックコメント募集の案内2014年11月14日
 - (40) さいたま市民活動サポートセンター主催「寄付を知る、まちを動かす フォーラム」の案内、2014年11月19日
 - (41) 埼玉県国際交流協会主催「国際交流まつり2014@北浦和」の案内
2014年11月20日
 - (42) さいたま市民活動サポートセンター主催「寄付を考えるフォーラム～寄付を知る
まちを動かす～」の案内2014年11月26日
 - (43) 埼玉大学主催「市民と共に考える留学交流シンポジウム」の案内
2014年12月1日
 - (44) 「NPO と企業のマッチングフォーラム」の案内、2014年12月1日
 - (45) 埼玉県国際交流協会主催「平成26年度第2回外国人相談研修会兼多文化ソーシャルワーク推進事業」の案内、2014年12月3日
 - (46) 「埼玉県でヘイトスピーチ」朝日新聞記事の紹介、2014年12月7日
 - (47) 外務省「2014年版 ODA 評価年次報告書」の紹介、2014年12月10日
 - (48) 新 ODA 大綱に関する有識者懇談会及び公聴会の議事録等外務省 HP の紹介
2014年12月11日
 - (49) 子どもの貧困に関する朝日新聞記事の紹介、2014年12月11日
 - (50) 「指定管理者制度の問題点」朝日新聞記事の紹介、2015年1月6日
 - (51) 「2014年末与党税制改正大綱に伴う認定 NPO 法人の優遇税制の扱い」記事の
紹介、2015年1月11日
 - (52) 「大学センター試験と NPO/NGO」田中敬文氏の関連指摘情報の紹介
2015年1月19日
 - (53) 子どもの貧困に関する国立社会保障・人口問題研究所阿部彩部長朝日新聞記事の

- 紹介、2015年1月20日
- (54) 平成27年度政府予算案外務省分説明資料の紹介、2015年1月20日
 - (55) IV-JAPAN「NHK国際番組取材と埼玉県国際課長のラオス訪問」の案内
2015年1月27日
 - (56) 開発協力大綱についてのJANIC大橋理事長の朝日新聞インタビュー記事の紹介
2015年2月1日
 - (57) シーズ「平成27年度NPO税制を読むセミナー」の報告、2015年2月1日
 - (58) 「国際協力のPCM活用したプロジェクト運営基礎セミナー（モニタリング・評価コース：3/7-8）」の案内（IV-JAPAN）、2015年2月2日
 - (59) 「日本NPO学会第17回年次大会」プログラムの案内、2015年2月4日
 - (60) 埼玉県国際課主催「第8回アジアフォーラム・インド」の案内
2015年2月5日
 - (61) 「NPO法人の監査の要点」セミナーレジュメ、2015年2月5日
 - (62) 「幸福な国の移民に疎外感」朝日新聞2月23日付の紹介、2015年2月24日
 - (63) 開発協力大綱に対する国際協力NGOセンターの緊急声明の紹介
2015年2月27日
 - (64) セーフトラベルセミナー・スタディツアーの案内、2015年3月2日
 - (65) 埼玉県国際課主催「第9回アジアフォーラム・モンゴル」の案内
2015年3月5日
 - (66) ふじみの国際交流センター「東武東上線沿線日本語教室ガイドブック」朝日新聞
記事の紹介、2015年3月8日
 - (67) 石川一喜准教授「道德教育」朝日新聞記事の紹介、2015年3月15日
 - (68) 埼玉アジアクラブ会議の報告、2015年3月15日
 - (69) 「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク平成26年度第2回幹事会」の報告、
2015年3月16日
 - (70) メイあさかセンターのマレーシア児童画展開催の釜石新聞記事の紹介
2015年3月18日
 - (71) 朝日新聞GLOBE寄附特集2015.1.4の紹介、2015年3月18日
 - (72) 内閣府「平成26年度NPO及び個人の社会貢献実調査報告書」の紹介
2015年3月25日
 - (73) 「埼玉県NPO基金助成事業平成26年度報告会・平成27年度説明会」の報告、
2015年3月26日
 - (74) 外務省「ODA白書2014年版」の紹介、2015年3月28日
 - (75) 埼玉県庁人事異動の紹介、2015年3月29日
 - (76) 難民申請「偽装・悪用」報道に関する難民支援協会コメントの紹介
2015年3月31日

9. 広報

(1) 広報リーフレットの発行

埼玉 NGO ネットの理念、目的、事業、世話人などをまとめた広報リーフレットを編集、4000部を発行した。

(2) ホームページでの発信

埼玉 NGO ネットが開設しているホームページに主、催行事の案内と結果報告、出展行事の案内、勉強会の内容紹介、調査報告「なぜ、中小 NGO にファンドレイジングが必要なのか」、新会員紹介などを掲載、情報の更新を行った。

(3) 広報用他団体 ML 登録

埼玉 NGO ネットとして下記のメーリングリストに団体登録を行い、主催行事の案内などを行い広報に努めた。

- ①埼玉県ボランティア・市民活動センター「埼玉県 NPO 情報ステーション」団体登録
- ②さいたま市市民活動サポートセンター・Web 団体会員登録
- ③さいたま NPO センター「さいたま市民活動 Sanpo-ML 団体登録
- ④JIC) 国際協力人材センターに団体登録

10. 協働とネットワーク

(1) 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワークへの代表幹事団体としての参加

第1回幹事会

日 時:平成 26 年 5 月 29 日(木)15 時 00 分

場 所:県浦和合同庁舎 5 階 第 3 会議室

議 題:①平成 25 年度事業実績について

②平成 26 年度事業について

③全体会の内容及び進行について

④平成 26 年度幹事団体の選任について

平成 26 年度幹事団体は次の様に決定した。

NGO:埼玉国際協力協議会(代表幹事団体)、埼玉日本語ネットワーク、国際協力 NGO・IV-JAPAN、ふじみの国際交流センター、民族フォーラム

市 町 村:戸田市、川越市、日高市、幸手市、本庄市

平成 26 年度事業は次の通り決定した。

ネットワークの事業

①全体会(年 1 回開催)、②幹事会(年 2 回開催)、③研修会(年 1 回開催)、④情報提供の強化(メールによる情報提供)

ネットワーク協力事業・多文化ソーシャルワーク推進事業

埼玉県内の外国人相談担当者とソーシャルワーカーが連携して、福祉分野における外国人

支援の課題対応策の研究をするための事業の実施。

ネットワーク構成団体が多く参加している事業

①中古資機材リサイクル国際協力事業

②彩の国さいたま国際交流・協力基金助成金

③国際フェア2014

全体会

全体会の第2部研修会の企画、講師などに関して、彩の国ネット代表幹事団体として、NGOの立場から事務局である埼玉県国際交流協会（SIA）と協議を行った。

JANICから東京で開催した「中小NGOのためのファンドレイジング・セミナー」の成果を普及し、地方のNGOの活性化に寄与するために、埼玉県での開催の打診が埼玉NGOネットに。

埼玉NGOネットは、SIA、JICA、埼玉NGOネットの三者協議の場を設け、全体会第2部で、JANICのファンドレイジング・セミナーを行う事を決定した。また、埼玉NGOネットはJANIC講師候補より、埼玉県内NGOの現状に適した候補を選定し、両者に推薦した。「なぜ、中小NGOにファンドレイジングが必要なのか」を簡潔にまとめ、全体会参加団体への配布資料に含めた。

日 時 平成26年6月5日（木） 13:30～16:30

場 所 埼玉県浦和合同庁舎5階 講堂

【第1部】13:30～14:20

（1）新幹事団体の選任について、（2）事業実績等について

【第2部】14:30～16:30

中小NGOのためのファンドレイジング・セミナー～地域社会との『縁』によるファンドレイズ～

コディネーター 菅 文彦 氏（コーズ・アクション代表・日本ファンドレイジング協会理事・国際協力NGOセンター理事）

・講演 菅 文彦 氏

「中小NGOが抱えるファンドレイジングにおける課題とその改善点を考えるポイント」

・事例発表及び質疑応答（特活）カレーズの会（静岡県）

「支援者分析から始めた、県内のコア・ボランティアを通じた支援者拡大の試み」

・事例発表及び質疑応答（特活）地球市民ACTかながわ／TPAK（神奈川県）

「創設期から次世代への継承 ～ボランティアパワーの獲得による組織の確立と地域企業との連携～」

・まとめ 菅 文彦 氏

第2回幹事会

日 時:平成27年3月16日(月)14時00分

場 所:埼玉県浦和合同庁舎 3 階 国際交流プラザ

議 題 : ①平成 27 年度事業について

②意見交換

③その他(県協会からの情報など)

平成 27 年度事業は次の通り決定した。

ネットワークの事業

①全体会(年 1 回開催)、②幹事会(年 2 回開催)

ネットワーク構成団体が多く参加している事業

①中古資機材リサイクル国際協力事業

②彩の国さいたま国際交流・協力基金助成金

③その他 上記事業の他、情報交換や各参加団体同士が行う協働事業

(2) 埼玉アジアプロジェクトへの参加

平成 26 年度埼玉アジアクラブ会議

日 時 平成 26 年 3 月 13 日(金)10:00～ 11:30

場 所 全日埼玉会館 5 階会議室

議 題 : ・実施中のモデルプロジェクト(セブものづくり、ラオス木工)について

・今後のプロジェクトの展開について

・その他

出席者「埼玉アジアクラブ」メンバー

アジア開発銀行駐日代表事務所駐日代表、(独)国際協力機構東京国際センター地域連携課主任調査役、日本アセアンセンター貿易投資部部長代理、埼玉大学国際本部国際開発教育研究センター教授、東洋大学川越事務部研究支援課次長兼課長、学長室研究協力課課長、)埼玉県商工会議所連合会業務課長、(株)埼玉りそな銀行国際事業室 GL、県庁支店副支店長、アジアビジネス再生機構代表理事、埼玉国際協力協議会副代表及び事務局長、IV— JAPAN 代表理事、)埼玉県国際交流協会事務局長

埼玉アジアクラブ事務局

埼玉県県民生活部国際課課長など

埼玉アジアプロジェクトの全体事業は次の通り。

国際課は埼玉アジアプロジェクトは継続する、4 年目を迎えるが今後は方向性を定めた取り組みとするなどの考えが示された。具体的には、アジアフォーラム(国別セミナー)を個別事業へ繋げるためフォーラム後の交流会の実施等を検討する、個別 2 事業(フィリピン、ラオス)の第 2 期継続の検討など。

埼玉アジアフォーラム

①埼玉アジアフォーラム

第 7 回埼玉アジアフォーラム～インドネシア

6月20日(金)、さいたま商工会議所会館

第8回埼玉アジアフォーラム～インド～

2月18日(水)、埼玉りそな銀行さいたま営業部

第9回埼玉アジアフォーラム～モンゴル～

3月25日(水)、さいたま商工会議所会館

個別プロジェクト

フィリピン・セブでの人材育成事業

ラオスでの木工職業訓練事業、実施団体はIV-JAPAN

その他：ハラル(薬務課所管)、インターシップ(観光課所管)、タイ水道事業支援(水道局)など

ラオスでの木工職業訓練事業は、JICA 地域連携スキームを活用して、申請団体が埼玉県国際課、実施団体が IV-JAPAN である。このプロジェクトは、現地の事情に精通し、ラオス政府自治体とのネットワークを有し、プロジェクト実施能力を持つ IV-JAPAN が国際課へ提案し、プロジェクト立案から JICA への、申請書起案、交渉、そして実施まで IV-JAPAN が実施を担っている、埼玉アジアプロジェクトで唯一、NGO 側がイニシアティブを採っている事業となっている。

(3) 外部団体の行事への参加

ネットワーキングの一環として、下記の行事に埼玉 NGO ネットとして参加した。

① 埼玉県 NPO 基金助成事業説明会

主催：埼玉県共助社会づくり課

期日：2014年4月9日(水)

会場：埼玉教育会館

② 平成26年度 NGO・外務省定期協議会「ODA 大綱見直しに関する ODA 政策協議会合」

主催：外務省、NGO

期日：2014年5月28日(水)

会場：外務省

③ 教員のための国際理解教育セミナー

主催：埼玉県国際交流協会、埼玉県ユニセフ協会、JICA 東京

期日：2014年7月28日(月)

会場：埼玉県浦和合同庁舎

④ 平成26年度多文化ソーシャルワーク推進事業「たたかう国際交流協会～福祉との連携」

主催：公益財団法人埼玉県国際交流協会、公益財団法人埼玉県社会福祉会

期日：2015年12月15日(月)

会場：埼玉県浦和合同庁舎

⑤ 緊急セミナー「NPO 法人の監査の要点」～監事が毎年最低限行うべきこと～

主催：NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

期日：2015年2月4日（水）

会場：中野サンプラザ研修室

⑥日本 NPO 学会第17回年次大会

主催：日本 NPO 学会

期日：2013年3月14日（土）、15日（日）

会場：武蔵大学江古田キャンパス

⑦埼玉県NPO基金助成事業平成26年度報告会及び平成27年度説明会

主催：埼玉県共助社会づくり課

期日：2015年3月26日（木）

会場：埼玉県庁

（4）東京国際大学「国際ボランティア論」講座への講師派遣協力

国際協力 NGO センターから、東京国際大学国際関係学部で「国際ボランティア論」として15回講義を行っているが、学生と埼玉県内の NGO と接点を作るために埼玉 NGO ネットに講師派遣要請があり、石井ナナエふじみの国際交流センター理事長を推薦して、6月19日（金）講義に講師として派遣した。

（5）全国海外子女教育国際理解教育研究協議会第25回関東ブロック埼玉大会へ出展

主催団体：NPO 法人全国海外子女教育国際理解教育研究協議会、関東ブロック海外子女教育国際理解教育研究協議会、埼玉県国際理解教育研究会

期日：2014年8月23日（土）、会場：戸田市文化会館、大会参加者：約110人

出展ブース会場は、実行委員会の配慮で全体会議室に隣接した1室が確保され、展示ボードなど利用機材使用料は主催団体が負担された。出展ブース紹介も全体会やプログラムの中で紹介され、参加者が海外子女教育国際理解教育に取り組む小中学校教師のため、国際理解教育への関心は高いものがあつた。ブース来場者には、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会会長、埼玉県国際理解教育研究会会長、次期実行委員長東京会長、基調講演講師の大学教授やグローバルセミナー・JICA 教師研修会参加などが含まれていた。

（6）埼玉県立平和資料館パネル展示

埼玉県立平和資料館（東松山市）より国際協力コーナー展示パネル改定に伴い、埼玉県内団体の国際協力活動紹介を内容とするパネルの企画依頼があつた。同館と協議し、埼玉国際協力協議会名で埼玉県での途上国支援と地域多文化共生をテーマとした内容とした。

11. 2014年度役員・会員

埼玉国際協力協議会の2014年度役員及び会員は下記の通り。

役員

代表：栗原 道子（公益財団法人 埼玉YMCA代表理事）

副代表：尾嶋佐和子（国際教育コーディネーター）

〃 白石 英二（埼玉県ユニセフ協会事務局長）

世話人：赤石 和則（拓殖大学国際学部教授・開発教育センター長）

〃 荒田光男（認定特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター理事）

〃 尾池富美子（認定特定非営利活動法人 メイあさかセンター代表理事）

〃 皮籠石成久（埼玉県国際理解教育研究会）

〃 佐復 正雄（認定特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN理事）

〃 山尾三枝子（埼玉日本語ネット副代表）

〃 山本 孟人（特定非営利活動法人 民族フォーラム理事長）

監査：磯田 昇（大学講師）

事務局長：加藤陽一（元公益財団法人 日本ユニセフ協会協力事業部長）

任期：2014年6月5日～2014年6月（総会開催日）

団体会員

公益財団法人埼玉YMCA

埼玉県ユニセフ協会

認定・埼玉県指定特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

認定・埼玉県指定特定非営利活動法人メイあさかセンター

認定・埼玉県指定特定非営利活動法人国際協力NGO・IV-JAPAN

特定非営利活動法人民族フォーラム

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～（代表：金子玲子）新入会

個人会員

赤石 和則、磯田 昇

大橋みぎは（さいたま市立小学校教員、協力隊OG）新入会、尾嶋佐和子

甲斐信好氏（拓殖大学国際学部教授）新入会、加藤 陽一

皮籠石成久、後藤 隆、島崎 辰夫（埼玉県国際交流協会）

中野 貴之（国際協力機構埼玉デスク）、山尾三枝子

第2号議案

2014年度収支決算

2014年4月1日～2015年3月31日

収入の部

(単位:円)

項 目	金 額 (円)	備 考
年会費	36,000	3,000円×6団体=18,000円 2,000円×9個人=18,000円
事業収入	45,420	
グローバルセミナー 2014	15,420	会場費として
JICAより JANICへの事業協力費	30,000	
雑収入	9	
預金利息	9	「埼玉りそな」普通預金
寄付	0	
	0	
当期収入 (A) (13年度比)	81,429 (+14,420)	
前年度繰越金 (B) (13年度比)	64,813 (+14,690)	
収入合計 (C) (13年度比)	146,242 (+29,110)	(A+B)

支出の部

項 目	金 額 (円)	備 考
事業費	54,872	
グローバルセミナー 2015	15,420	カルタスホール会議室使用料 (3室)
	10,000	講師謝金(5,000円×2名)
	14,880	会議費 (打合せ会、当日、懇親会)
	2,214	郵送料 (チラシ発送)
	678	当日雑費 (講師水、紙コップ、等)
国際フェア	10,000	出展料
ミニ勉強会	1,680	講師昼食代 (サルタナットさん)

広報費	27,650	
ホームページ管理費 パンフレット作成費	24,628 3,022	JCAFE (サーバー利用、ドメイン管理料金) ネット印刷費 (300部:紙代・送料含む)
他団体会費	3,000	
S I A 賛助会費	3,000	団体会費として
事務管理費	23,038	
資料等コピー代 文具等 事務局長年間交通費 運送費 (宅急便) 役員送別会費	1,440 3,992 15,000 656 1,950	総会、国際フェア、勉強会 プリンターインク、コピー用紙、等 JANIC からの特別収入の2分の1 NGO ネットパンフレット (城西大学用) 皮籠石さん歓送会ランチ
当期支出 (D) (13年度比)	108,560 (+56,241)	当期収支差額 (A-D) △27,131
次年度繰越金 (C-D) (13年度比)	37,682 (-27,131)	

現金	2,939
預金 (埼玉りそな)	34,743
合 計	37,682 (円)

監査の結果、上記の通り相違ないことを報告いたします。

2015年4月21日

会計監査 磯田 昇 Ⓜ

第3号議案

2015年度事業計画

2015年度事業方針

埼玉国際協力協議会（以下埼玉 NGO ネット）は、埼玉県内唯一の国際協力 NGO のネットワーク組織として20年目を迎える。会員は主に埼玉県内で途上国支援、地域の多文化共生、グローバル教育に取り組む団体と個人から構成されている。本年度は、会員間で相互に協力し学び合い会員の能力向上に努め、また会員の専門的知識・経験を活かしてネットワーク事業及び会員事業の充実を進める事で、グローバル市民の育成を図り、途上国の貧困削減や地域多文化共生を進める。また、県内 NGO/NPO、埼玉県庁、埼玉県国際交流協会（以下 SIA）、国際協力機構（以下 JICA）、教育機関などと協働を進め、グローバル市民社会の形成を目指していく。

1. 2015年度定期総会の開催

会員定期総会を下記の要項で開催し、2014年度事業報告及び収支決算、2015年度事業計画及び収支予算、役員を審議し、決定する。

日時：2015年6月11日（木）9：30～10：30

場所：浦和コムナーレ

議題：2014年度事業報告案及び収支決算案、2015年度事業計画案及び収支予算案、
2015年度役員案

2. 定例会の開催

原則として年8回程度、必要な際は臨時定例会を開催し、年度事業計画の実施詳細の協議を進めると共に、加盟会員間の情報・意見交換などを行う。2015年度は、4月、6月（総会開催時）、7月、9月、11月、12月、1月、3月を予定。定例会を加盟団体事務所で可能な範囲で開く事で相互学習を深めるなどを進める。

3. グローバル・セミナー2016の開催

グローバルな課題である途上国支援や多文化共生社会を目指し、地域でグローバルな課題解決に取り組む市民の人材育成を目的に、2015年度も三者共催事業として開催する。

主催：埼玉 NGO ネット、(独) JICA 東京、(公財) SIA

後援：埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会（予定）

時期：2016年2月を予定

テーマ、構成、講師、会場、日時は今後、共催三者で協議して決定する。

4. 国際フェア2015へ出展参加

(公財) SIA が主催する埼玉県内 NGO の祭典である「国際フェア2015」にブースを出展し、来場者に国際理解の促進や埼玉 NGO ネット及び会員についての広報を行う。開催時期は11月3日(火・祝)予定、会場はさいたまスーパーアリーナが予定されている。

5. 勉強会の開催

途上国支援や多文化共生、グローバル教育、NGO の運営や自己資金調達などをテーマに、適当な講師を招いて勉強会を年数回行い、会員の知見を深めると共に加盟団体の運営・事業の促進に寄与する。

6. 城西大学「国際ボランティア論」講義へ講師派遣

城西大学経済学部から要請があり、グローバル市民としての人材育成を目的に、大学生に対する国際ボランティア論3回講義へ講師を派遣する。会員の尾池富美子・メイあさかセンター代表理事をコーディネーターに、3人の講師を10月末から11月に派遣する。

7. 加盟団体への業務支援

外務省、JICA、埼玉県、SIA、助成機関などの NGO 資金助成制度の申請、認定・埼玉県指定取得の申請、個別事業の企画や実施の業務など、加盟団体の組織運営や事業の業務支援を行う。

8. 会員に対する情報提供

人材研修など NGO 共通の課題についての研修会・シンポジウム、NPO 法や国際協力に関するセミナー、外務省、JICA、埼玉県などの NGO 支援制度や事業などの情報を、メンバーリストで会員へ提供し、会員の組織運営や事業実施に寄与する。

9. 広報

情報発信を通して、埼玉 NGO ネット及び会員についての理解を促進する。

- (1) ホームページによって事業告知・報告、会員事業紹介などを発信する。
- (2) 埼玉 NGO ネット広報リーフレットを作成し配布する。
- (3) 埼玉 NGO ネットとして団体登録した他団体 ML を通じて主催事業等の広報を行う。

10. 協働とネットワーク

(1) 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワークへ代表幹事団体として参加

埼玉県内の国際協力・交流、在住外国人支援を目的とする NGO/NPO と県市町村行政のネットワーク。同彩ネットの代表幹事団体として全体会、幹事会などに出席。また、ネットワーク事業などを通して、県内 NGO/NPO や県市町村行政との協働を進める。

(2) 埼玉・アジアプロジェクトへ参加

埼玉県内の行政、企業、NGO、大学等が連携してアジア諸国への社会貢献と経済関係強化を目指す埼玉・アジアプロジェクト（主管埼玉県国際課）へ、NGO を代表して参加する。埼玉アジアクラブ会議や国別アジアフォーラムへの参加、個別事業として国際協力 NGO ・IV-JAPAN が行うラオス木工職業訓練事業への業務支援を行う。

(3) 外部団体行事への参加

ネットワーキングの一環として、外部団体が主催する行事等へ参加する。

11.その他事業

埼玉 NGO ネットの目的や2015年度事業方針に必要な事業として、事業計画にない事業を行う際は、定例会で協議し、実施を決定する。

- (1) 20周年を迎えたことから、団体及び個人の新規会員の加入を勧める。団体会員は適切な団体にピンポイントに狙いを定めて加入を勧誘する、勉強会の時に招待する、ネットワーク事業実施時に波及させていくなど、今後、定例会などで具体的方策を協議する。

また、NGO 向けのネットワーク事業として、人材と資金に間するセミナーや企業との連携事業の企画を検討する。

- (2) 外務省や JICA、助成団体の NGO 支援制度、寄付金や会費の自動引き落としやクレジットカード利用など自己資金調達などに関して、必要な機能や要件などの調査・研究を行う。

特活＝特定非営利活動法人（NPO 法人）

認定特活＝認定特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）

県指定＝埼玉県条例指定法人

公財＝公益財団法人

独＝独立行政法人

第4号議案

2015年度役員

以下の方々を埼玉国際協力協議会の2015年度役員（氏名・所属）として提案します。

- 代 表：石井 ナナエ（認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター理事長）
- 副代表：尾嶋 佐和子（国際教育コーディネーター）
〃 吉田 隆宏（埼玉県ユニセフ協会事務局長）
- 世話人：赤石 和則（拓殖大学国際学部教授・国際開発教育センター長）
〃 荒田 光男（認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター理事）
〃 尾池 富美子（認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 メイあさかセンター代表理事）
〃 金子 玲子（世界に目を向けよう～今、私たちにできること～代表）
〃 栗原 道子（公益財団法人 埼玉YMCA代表理事）
〃 佐復 正雄（認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 国際協力 NGO・I V－J A P A N理事）
〃 白石 英二（前埼玉県ユニセフ協会事務局長）
〃 山尾 三枝子（埼玉日本語ネットワーク副代表）
〃 山本 孟人（特定非営利活動法人 民族フォーラム理事長）
- 監 査：磯田 昇（大学講師・グローバル人材アドバイザー）
- 事務局長：加藤 陽一（元公益財団法人 日本ユニセフ協会協力事業部長）

任期：2015年6月11日～2016年6月（総会開催日）

2015年6月11日現在の団体会員・個人会員

団体会員

公益財団法人 埼玉YMCA

埼玉県ユニセフ協会

認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター

認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 メイあさかセンター

認定・埼玉県指定特定非営利活動法人 国際協力 NGO・I V－J A P A N

特定非営利活動法人 民族フォーラム

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

個人会員

赤石 和則

磯田 昇

大橋みぎは（さいたま市立小学校教師、協力隊 OG）

尾嶋 佐和子

甲斐信之（拓殖大学国際学部教授）

加藤 陽一

皮籠石 成久（埼玉県国際理解教育研究会）

島崎 辰夫（公益財団法人埼玉県国際交流協会）

白石 英二

中野 貴之（独立行政法人国際協力機構 国際協力推進員・埼玉デスク）

古山 三保（川口市立高校教師）

森山 浩光（日本畜産技術士会副会長、東京農工大学講師）

山尾 三枝子

第5号議案

2015年度収支予算

(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部

項 目	金 額 (円)	備 考
年会費	45,000	3,000円×7団体=21,000円 2,000円×12個人=24,000円
事業収入	15,420	
グローバルセミナー2016	15,420	会場費としてJICAより
雑収入	0	
預金利息	0	「埼玉りそな」普通預金利息
寄付	0	
当期収入 (A)	60,420	
前年度繰越金 (B)	37,682	
収入合計 (C)	98,102	(A+B)

支出の部

項 目	金 額 (円)	備 考
事業費	52,620	
グローバルセミナー	15,420	会場費
	10,000	講師謝金 (5,000円×2名)
	15,000	会議費 (講師+実行委員当日用、打合せ)
	2,200	チラシ郵送費等
国際フェア	10,000	出展料
広報費	29,128	
ホームページ管理費	24,628	プロバイダーに振込み (含・振込手数料)
パンフレット作成費	3,500	印刷費
他団体会費	3,000	
S I A 賛助会費	3,000	
事務費	5,500	
資料コピー代	1,500	
文具等	4,000	
当期支出 (D)	90,248	当期収支差額 (A-D) ▲33,828
次年度繰越金 (C-D)	7,854	